

各種相談窓口

～ひとりで悩まないで～

お問い合わせはこちら▶
こども支援課 TEL:073-441-2555

若者総合相談With You

学校、職場での困りごとや、家族、友人との関わり方など、なんでもご相談ください。

- With You わかやま
和歌山市本町1-22 Wajima本町ビル4階 TEL:073-428-0874
- With You きのかわ
橋本市市脇1-1-6 JA橋本支店ビル2階 TEL:0736-32-0874
- With You 南紀
田辺市高雄1-23-1 市民総合センター北館 TEL:0739-24-0874

受付時間 月～金曜日10時～17時(祝日・年末年始等を除く)
来所相談は事前にご予約ください

利用対象者 概ね15歳～39歳までの方とご家族など



わかやまネットトラブル相談窓口

アカウントを乗っ取られた、無断投稿を削除してほしい、ネットでいじめに遭っているなど、ネットに関する様々なトラブルについて相談いただけます。24時間、チャットbotが自動で対応し、希望すれば、平日の15時から19時までの間には相談員にも相談できます。相談したい方、悩みのある方は、二次元コードからアクセスしてください。

利用対象 県内のこどもに関するネットトラブルの相談



EL-BASE ぷらす

若者の社会参加への第一歩をサポートするために、公認心理師等が対人不安や日常の悩み等に寄り添い、若者同士の交流機会を通じて、社会参加に必要な対人コミュニケーションや学び等を支援しています。そして、主に小中学生向けのイベント企画等を通じた就労体験も提供しています。興味がある方は、ぜひ二次元コードからお問い合わせください。

利用対象者 15歳～39歳で現在アルバイトや就労をしていない方
和歌山県にお住まい、または拠点がある方に限ります



守ろう! 命と交通ルール

自転車安全運転街頭指導

毎月1日と15日に、学校、警察及び関係者の方々が協力して、街頭指導を実施しています。

交通事故の被害者にも加害者にもならないよう、交通ルールを守り、一人一人が安全運転を心がけましょう。



注目 「青切符」制度が導入され、反則金の対象となります!!

道路交通法の一部改正により、令和8年4月1日から、16歳以上を対象に自転車の一定の交通違反に対して、「交通反則通告制度」いわゆる「青切符」制度が導入され、**反則金の支払の対象**となります。

- 【対象となる行為】**
- ・携帯電話使用
 - ・通行区分違反(右側通行)
 - ・並進
 - ・指定場所一時不停止など

日置中学校

第40回時事通信社「教育奨励賞」 優秀賞・文部科学大臣奨励賞受賞



白浜町立日置中学校が、時事通信社「教育奨励賞」にて、最も優れた賞である優秀賞・文部科学大臣奨励賞を受賞しました!

日置中学校では、「日置の魅力を発信する」という理念のもと、地元企業や地域と連携し、生徒手作りのフリーマガジン「ひきよせ」を発行しています。取材のAppointmentから原稿執筆までを生徒が行うという生徒主体の取組である点や、地元企業との産学連携事業であるという点が高く評価されました。



◀内外教育

神島高校

第13回高校生ビジネスプラン・グランプリ(日本政策金融公庫主催) 神島塾「和歌山のめぐみピクルス」3年連続全国入賞



全国の高校生が起業のアイデアを競う、高校生ビジネスプラン・グランプリで、神島高校の生徒たちが発案したプランが応募総数5640件の中からベスト20に選出され、入賞しました!

地元の特産品である「梅の調味液」と、「規格外の野菜」を使用したピクルスは、フードロス削減しながら新商品を開発した発想と、地域の問題改善に貢献する内容が高く評価されました。今後は実際に販売することを目指し、生徒たちは新たな挑戦をはじめています。



県立近代美術館 特別展

高校生以下・65歳以上・障害者の方は入館料が無料です。
休館日は月曜日(祝休日の場合は翌平日)です。

下村観山展

期間 5月30日(土)～7月20日(月・祝)

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690 (主催)和歌山県立近代美術館、日本経済新聞社



重要文化財 東京国立博物館 Image: TNM Image Archives (展示予定期間:5月30日～6月28日)



下村観山(木の間の秋)1907(明治40)年 東京国立近代美術館

下村観山という画家を知っていますか。1873(明治6)年、紀伊徳川家に仕えた能楽師の家に生まれ、明治から昭和のはじめにかけて活躍した日本画家です。和歌山県立近代美術館では県ゆかりの画家として、1981(昭和56)年に展覧会を開催していますが、今回45年ぶりに、ふるさと和歌山での大回顧展が実現します。

実際に観山が生まれた場所は、今の日赤和歌山医療センターの南側あたりでした。8歳になる頃には一家で東京へと移り住み、まもなく絵を学びはじめます。早くからその才能を発揮した観山は、狩野芳崖、橋本雅邦といった名だたる画家たちに教えを受け、東京美術学校の第一期生となりました。卒業後は同校で教え、また岡倉天心が率いた日本美術院の創立に参加して、横山大観や菱田春草らとともに新しい日本美術の道を切り拓いていきます。

1903(明治36)年には、国から派遣される留学生としてイギリスへ渡り、日本画の発展を目指して西洋美術の絵画技法を学びました。その成果は、日本古来の絵画表現と西洋画の写実表現を融合させた独自の創意へと展開し、帰国後は画壇のリーダーとして活躍していきました。今回の展覧会では、イギリスの大英博物館から留学時代の作品をお借りするほか、「木の間の秋」《弱法師》(重要文化財)など代表作を通じて、その画業をたどります。

一方、観山の画家としての仕事は、展覧会への作品出品だけでなく、日本の近代化に重要な役割を果たした渋沢栄一ほか財界人らとの関わりによっても支えられていました。そうした社会における観山の姿も含めて、大きく2部構成で再検証するのが、今回の回顧展です。

県立博物館施設 休館のお知らせ

- 県立博物館 | 改修工事のため、令和7年11月26日(水)～令和8年7月31日(金)まで休館となります。
- 県立紀伊風土記の丘 | 改修工事のため、令和8年4月1日(水)より休館となります。開館時期は決定次第、当館ホームページに掲載します。なお、園内の散策は可能です。